

光 陵

創立四十周年記念第九回同窓会定期総会

平成二十七年度は、母校創立四十周年の年でした。同窓会では、会則に基づき、母校周年行事に合わせて十年ごとの定期総会を開催することと規定されています。

そこで、母校の周年行事の日程に合わせて、平成二十七年十月二十三日（金）午後五時から、ホテルカデンツア光が丘2階小宴会場ラベンダーにて、創立四十周年記念第九回同窓会定期総会を開催しました。

当日は、本会名誉会長である服部幸一郎第十二代現校長先生を初め、会員十三名、客員一名（十二名）が出席し、事務局の四期加藤竜吾の進行で行いました。

議事内容は、次の通りです。

- 一 開会の辞
- 二 同窓会会長あいさつ
東京都立光丘高等学校同窓会会長
樋口 賢
- 三 学校長挨拶
東京都立光丘高等学校同窓会

都立光丘高校
同窓会だより第5号
平成28年8月1日発行
編集・発行
東京都立光丘
高等学校同窓会
発行責任者
樋口 賢
〒179-0071
東京都練馬区
旭町二丁目1番35号
電話 03-3977-1501

名誉会長
東京都立光丘高等学校校長
服部幸一郎 先生

四 現役員紹介（会則第5条関連）
議長団選出
全会一致で、会長 樋口 賢が行うこととした。

五 議事

① 事業報告
（創立三十周年第八回定期総会以降）

② 会計報告
（創立三十周年第八回定期総会以降）

③ 報告事項

ア 創立三十周年記念同窓会定期総会報告
（平成十九年十二月二十二日）

イ 同窓会会則等について

ウ 同窓会会報の発行
（第四号・平成二十七年七月発行）

エ 同窓会ホームページの開設について

オ 同窓会からの在校生支援事業について



カ 卒業生への支援事業について

キ 同窓会会計事業の改善について

ク 同窓会常任委員会の経過報告について

ケ 同窓会役員について

コ 創立四十周年の時計台寄贈

以上、議案書により一括して事務局、加藤より説明し、質疑を受けることとした。

（質問）増加する会費について会員への還元方法は何かあるのか。

（会長）今後の検討課題としていくことを回答した。

七 その他

参加会員からの自己紹介を行った。

八 閉会の辞

祝賀会場について事務局から案内をした。（文責・加藤竜吾）

母校創立四十周年記念式典及び祝賀会

平成二十七年十月二十三日(金)午後一時から母校体育館において、創立四十周年記念式典が行われました。

第一部では、服部幸一郎校長先生の式辞に続いて、祝辞では、東京都教育委員会挨拶、東京都高橋伯也第九代校長先生が歴代の校長先生を代表して在職当時のお話をさせていただきました。また、PTA会長及び樋口賢同窓会長の祝辞もありました。

第二部では、吹奏楽部、軽音楽部、ダンス部等の部員による演奏やダンスなど、華やかだ雰囲気の様式典となりました。

同窓会からは、学校からの要望も含めて、周年行事特別会計を利用し、時計塔を寄贈しました。母校に訪れた際には、ぜひご覧ください。



同日午後六時から、場所を移してホテルカデンツア光が丘において、PTA及び同窓会主催の記念祝賀会を実施しました。

祝賀会には、同窓会からも定期総会に引き続き同窓生も出席しました。服部幸一郎校長先生、地域代表として光が丘地区連絡協議会会長高橋司郎様の御挨拶のあと、鏡開きを行い、歴代校長先生を代表して中村新吉第四代校長先生の御発声で乾杯をしました。

その後、加藤竜吾氏による「四〇年前『光が丘』の地に初めて開校した高校が『光丘高校』か？」という光が丘学に基づく講演を行い、最後に同氏によるピアノ伴奏により全員で校歌を合唱して閉会しました。

(文責・加藤竜吾)



平成28年度 人事異動

転退者		転出校(課程)	転入者		前任校(課程)
国語	太田 俊	大泉桜高	国語	工藤かおり	竹早高
国語	佐藤 幸司	江北高定・副校長	国語	手塚 健世	文京高
国語	長谷部聡子	南葛飾高	国語	明正 理恵	新規採用
日史	関 裕俊	練馬高	日史	松本 桂	指導部
保体	後藤 辰雄	青山高	保体	長谷川正一郎	飛鳥高(定)
音楽	伊村 洋子	練馬高	音楽	出口 恵	飛鳥高
英語	稲田 隆士	兵庫県立生野高	英語	泉崎 靖子	東久留米総合高
英語	及川 暁夫	東久留米総合高	英語	永峰佐和子	第四商業高
英語	岡本 裕治	退職	英語	山口 真史	新規採用
家庭	緒方 葉子	退職	家庭	石橋里英子	目黒高
養護	小林 由佳	大泉桜高	養護	柳瀬 奈生	中野工業高
**	*****	*****	非教	金子 勉	農業高校・校長
経企	岡部真由美	練馬区立練馬中主任	経企	栗原まゆみ	総務局